

## 「IR note マガジン」 株価への影響分析結果を発表 参加企業数は51社に拡大



当社と株式会社ツクルバが中心となり上場企業31社が共同で立ち上げた「IR note マガジン」につきまして、立ち上げから約5ヶ月で参加企業数は51社に拡大しました。このたびIR note マガジンの取り組みによる参加企業の株価への影響について分析しましたので、その結果について発表いたします。

### IR note マガジンとは

これまでのIR活動では決算情報等の適時開示や説明会の開催といった活動が中心でしたが、投資家の皆さまにより幅広い情報をよりわかりやすく届けるため、noteを活用したIR情報発信を行う企業が増えてきています。

こうした動きを受け、投資家の皆さまにnoteで発信されるIR情報をより充実した形でスピーディーにお届けし、投資判断に役立てていただくことを目的として、本年3月23日、上場企業31社が共同でメディアプラットフォームnote上に「IR note マガジン」を創刊しました。立ち上げから約5ヶ月で参加企業数は51社に拡大、フォロワー数は1,100人を突破しています。

投資家の方はIR note マガジンをフォローすることで、IR note マガジン参加企業のIR記事の掲載通知をまとめて受け取ることができ、幅広いIR記事をいち早く読むことができます。これにより、IR note マガジン参加企業は、他の企業に関心を持つ投資家を含めて、より多くの投資家にIR記事を届けることが可能になります。

IR note マガジンの閲覧を希望される投資家のみなさまは、ぜひ下記URLからIR note マガジンをフォローしてご覧ください。

<https://note.com/notemagazine/m/m530d4bde968b>

## IR note マガジンの取り組みによる株価への影響分析

IR note マガジンの取り組みによる効果を定量的に検証するため、IRアナリティクスツールを提供する株式会社Figuroutに協力いただき、株価との関係性について分析しました。

IR note マガジン立ち上げ時の参加企業31社<sup>※1</sup>を対象に、マガジン立ち上げ当日（3月23日）を基準として株価のパフォーマンスを比較したところ、下記の図の通りマガジン参加企業の平均株価変動は+10.3%となり、ベンチマーク企業<sup>※2</sup>に対して+4.9%、グロース指数に対して+6.7%アウトパフォーマンスしていることが確認できました。



IR note マガジンへの参加により、各企業のnote記事がマガジンのフォロワーへと広く届き、認知の拡大や企業への理解の拡大へとつながっていることも、株価が好調であるひとつの要因であると推測できると考えています。

※1 調査対象31社の詳細：ツクルバ、note、アズ企画設計、アディッシュ、アピリッツ、エアークローゼット、グッドスピード、グランドキューブ、スパイダープラス、スマレジ、セレンディップ・ホールディングス、ツナググループ・ホールディングス、トピラシステムズ、日本情報クリエイト、ブレイド、ブロードエンタープライズ、メンバーズ、ランサーズ、ランディックス、ロードスターキャピタル、CINC、Enjin、Finatextホールディングス、GameWith、GA technologies、HENNGE、HYUGA PRIMARY CARE、JDSC、Recovery International、ROBOT PAYMENT、THECOO

※2 ベンチマーク企業：パフェットコードの類似企業比較機能を参考に株式会社Figuroutが算出

### 【株式会社Figurout】

株式会社Figuroutは、「資本主義のアップデート」をパーパスとした、投資家と企業のエンゲージメントプラットフォームをつくる会社です。上場企業のIRアクティビティの市場に対する影響度を分析・管理するダッシュボードサービス「HooldersAnalytics」を提供しています。

所在地：東京都千代田区神田駿河台4-2-5 トライエッジ御茶ノ水10階

設立日：2021年10月 代表取締役：中村研太 コーポレートサイト：<https://figurout.co.jp/>

## IR note マガジンへの参加を希望される企業の方へ

IR note マガジンは、引き続き参加企業を募集しています。上場企業であればどちらの企業様もご参加可能です。参加に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

<https://note-ir.zendesk.com/hc/ja/requests/new> (note株式会社 IRお問い合わせ窓口)

noteは、IR note マガジンの取り組みを通じた“noteでIR”の普及をはじめ、企業によるさまざまなステークホルダーに向けた情報発信に積極的に貢献してまいります。

## IRに関するイベント開催のお知らせ

9月5日(火)17時から、「投資家をファンに変えるIRを考える」をテーマに「等身大の企業広報」というイベントを開催いたします。



今回のイベントでは、日本基準の新しいIRのあり方を提案されている経済アナリストの馬淵磨理子さん、「IR noteマガジン」立ち上げを企画頂いた重松さん、そしてスパイダープラスでIRを担当されている石田さんにご登壇いただき、IRにおける情報発信の新しい可能性について議論いただきます。

IRや広報を担当されている方はもちろん、マーケティングやSNSをからめたコミュニケーションに関わる方も是非ご参加下さい。

トークテーマ (内容は変更する可能性があります)

- ・ IRにおいて、いまなぜ幅広い情報発信が必要なのか？
- ・ 投資家をファンに変える情報発信のポイントとは？
- ・ 効果や手応えの測定はどうすべきなのか？
- ・ これからのIRはどう変わるか？

### 【開催日時】

2023年9月5日(火)17時～18時半

### 【使用ツールおよび配信URL】

YouTubeライブ配信（配信URLは参加お申し込み後、メールにてご案内いたします）

### 【参加費】

無料

### 【参加方法】

こちらの[申し込みフォーム](#)よりお申し込みください。

その他詳細はこちらの[イベント概要ページ](#)をご確認ください。

## note

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービスを開始し、約3,490万件の作品が誕生。会員数は663万人（2023年5月時点）に達しています。

- URL：<https://note.com/>
- iOSアプリ：<https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>
- Androidアプリ：<https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

## note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援を受けたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6-2

設立日：2011年12月8日 代表取締役CEO：加藤貞顕 コーポレートサイト：<https://note.jp>

## 本件に関する問い合わせ先

note 株式会社 IR お問い合わせ窓口 <https://ir.note.jp/inquiry>